

## 「リニモ沿線地域づくり構想」36 主要施策の点検

### 1 点検の必要性

- 「リニモ沿線地域づくり構想（平成 21 年 3 月策定）」では、地域の将来像を掲げ、その実現に向けた基本方針、基本戦略及び 36 の主要施策を盛り込んでいる。
- 主要施策には、3 年程度（2011 年頃）で具体化する短期施策と、2015 年頃までに具体化をめざす中期施策がある。
- このうち、短期施策については、2011 年（平成 23 年）頃までに具体化することとされており、今年度、目標期限を迎えている。
- このため、短期施策について取組状況等を把握するとともに、あわせて中期施策についても、目標期限までの取組状況等を把握することにより、事業を点検し、必要に応じて施策を見直すこととした。

### 2 点検の方法

- 主要施策ごとに、愛知県及び沿線市等による事業の進捗状況を把握し、施策が「具体化」されているか否かを判断し、今後の対応について検討を行う。
- 進捗度合の判断は、以下の通りとする。
  - （ソフト施策の場合）実施されていなければ「未着手」  
実施されていれば「具体化」
  - （ハード施策の場合）着手されていなければ「未着手」  
着手されているものの整備に至らなければ「事業中」  
整備されていれば「具体化」

### 3 点検の結果

#### (1) 短期施策（20 施策）

#### ○ 進捗度合

- ・短期施策の多くがイベント開催などのソフト施策（16 施策）であり、それらソフト施策の全てで事業が実施されているため、施策は「具体化」とする。
- ・ハード施策（4 施策）については、整備が完了（段階的整備を含む）されているため、施策は「具体化」とする。

## ○ 今後の対応

- ・ソフト施策について、一層の成果を挙げるためには、事業を継続する必要があるため、今後も工夫をこらしながら、「今後の対応」に記載している内容を進めていく。
- ・ハード施策については、これまでに整備された施設を十分活用することをはじめ、「エコ技術の導入」、「知の拠点の整備」、「P&R 駐車場の整備・促進」を一層進めていく必要があることから、「今後の対応」に記載している内容を進めていく。

## (2) 中期事業(16 施策)

### ○ 進捗度合

- ・中期事業の多くがハード施策（14 施策）であり、それらハード施策の全てで事業に着手している。そのうち、一部整備が完了した 3 施策については、施策は「具体化」とする。残りの 11 施策では、整備に至っていないため、施策は「事業中」とする。
- ・ソフト施策（2 施策）は、ともに事業を実施しており、施策は「具体化」とする。

### ○ 今後の対応

- ・ハード施策では、「具体化」とされた施策も含め、引き続き一層の整備を進めていくため、「今後の対応」に記載している内容を進めていく。
- ・「事業中」とされた施策のうち、とりわけ市街地整備に関連する諸施策については、地権者との合意形成等をはじめ、長期的な視野で着実に施策を進めていく必要がある。
- ・ソフト施策についても、工夫をこらしながら、「今後の対応」に記載している内容を進めていく。

		事業中	具体化
短期	ソフト	0	16
	ハード	0	4
中期	ソフト	0	2
	ハード	11	3

リニモ沿線地域の将来像実現に向けた主要施策 現状と今後の対応【リニモ沿線地域づくり構想】

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
1	中期	○	駅を中心に概ね1km圏内の市街地整備の推進	1-1	八草駅周辺において、豊田市の北の玄関口として、公共交通（リニモ、愛知環状鉄道）が結節する自然環境と調和した良好な市街地の実現に向け、市街化区域の見直しや将来的な用途地域の変更を見据えながら、市街地整備事業の計画検討を進めている。 平成22年度までに整理した取組方針を基に、平成23年度から地元まちづくり組織の活動を支援し、事業化に向けて共働による検討を進めている。	豊田市 (都市計画課)	事業中  長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺において、駅を中心とした市街地整備に取り組んでいく。 とりわけ、地権者との協議段階にある地区については、着実に地権者との合意形成に努めて、事業を推進していく。
				1-2	長久手古戦場駅の南部に位置する日進市北新地区において、平成21年度より地元地権者からなる世話人会との会議を重ねてきた。その間タウンウォッチングやアンケート調査等により、本地区についての現状や課題の整理を行っている。 また平成23年度には土地区画整理事業実施や施工地区の設定についての検討資料とするため、調査範囲内の地権者への土地利用意向調査を行っている。	日進市 (区画整理課)	
				1-3	長久手古戦場駅周辺において、土地区画整理事業による市街地整備を行っている。 また、このエリアの中心を担う商業事業者の協力を得て、新たなまちづくりの象徴となる「リニモテラス構想」（広場と複合商業施設とで構成）の実現を目指している。	長久手市 (計画課)	
				1-4	公園西駅周辺では、平成24年度中の市街化区域編入告示を目標として、国や県との協議を進めている。 また、土地区画整理事業による整備を進めるための調査・設計業務委託を進めている。 一方、地権者を中心としたまちづくり協議会を設立し、公園西駅周辺のまちづくりの方向性、必要な機能、どのような商業事業者を誘致するか等の検討を進めている。	長久手市 (計画課)	
2	中期	○	森林・農地の適正な維持管理	2-1	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」に基づき、平成18年3月に指定した海上の森自然環境保全地域では、生物多様性の豊かな里山のあるべき姿を目指した保全事業（シデコブシ等希少植物の保全）を実施している。	愛知県 (自然環境課)	具体化  引き続き、海上の森の保全事業を実施するとともに、「あいち森と緑づくり税」を活用した里山林の再生・整備や生態系ネットワークの検討を進めるなど、森林・農地の適切な維持管理に取り組んでいく。
				2-2	リニモ沿線を含む名古屋東部丘陵地域をモデル地域として、生態系ネットワーク形成の具体的手法の検討を行っている。 平成23年3月に、この地域の大学、事業者、自治体等が参加する東部丘陵生態系ネットワーク協議会を設立し、この地域の生態系ネットワーク形成について検討を進めている。	愛知県 (自然環境課)	
				2-3	平成21年度に導入した「あいち森と緑づくり税」を活用し、都市近郊の放置された里山林の再生や地域のニーズを活かした里山林整備を進めている。（平成23年度までに、リニモ沿線での整備実績はない。）	愛知県 (森林保全課)	
				2-4	平成17年度から海上の森内の県有農地の維持管理、人工林・針広混交林の間伐、林道・作業道・歩道の維持管理、草刈り等を行っている。	愛知県 (森林保全課)	
				2-5	耕作放棄地を対象とした営農体制の確立及び法人等の農業参入等を支援し、耕作放棄地の解消を図っている。	長久手市 (田園バレー事業課)	
3	短期	○	エコ技術の導入	3-1	環境省の地域グリーンニューディール基金（平成21～23年度）を活用し、愛・地球博記念公園及び陶磁資料館に省エネ・新エネ施設（太陽光発電施設、空調機等）を導入している。	愛知県(地球温暖化対策室)	具体化  公的施設でのエコ技術の導入が進んでいるものの、住宅をはじめとした民間施設での導入が進んでいない。今後、市街地整備の進捗にあわせ、民間施設でのエコ技術の導入にも取り組んでいく。
				3-2	平成15年度より継続して、住宅用太陽光発電施設の設置者（個人）に対して補助を行う市町村に対して、助成を実施している。（豊田市は、平成12年度～）	愛知県(地球温暖化対策室)、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	
				3-3	「知の拠点」先導的中核施設において、太陽光発電装置及び雨水再利用設備を設置したほか、複層ガラスやクールヒートチューブを導入し、省エネ化に努めている。	愛知県 (科学技術推進室)	
				3-4	「あいち森と緑づくり税」を活用し、県と市が協調して民有地の敷地または建築物（屋上、壁面等）の緑化費用の一部を助成している。	愛知県(公園緑地課)、名古屋市、長久手市	
				3-5	愛・地球博の理念と成果を継承・発展させる核となる施設である愛・地球博記念公園の地球市民交流センターに、様々な環境技術を導入している。 <導入している環境技術> ・太陽光発電 ・風力発電 ・屋上緑化 ・壁面緑化 ・クールチューブ ・自然換気 ・井水ヒートポンプ ・ドライミスト ・間伐材利用 ・雨水利用 など	愛知県 (公園緑地課)	
				3-6	「愛知県建築物環境配慮制度」を規定した「県民の生活環境の保全等に関する条例」等により、床面積2,000㎡超の建築物の新・増改築時に建築物環境配慮計画書の提出を義務化するなど、総合的な環境性能に優れた建築物を普及・促進する取組を進めている。	愛知県(住宅計画課)	
				3-7	高効率給湯器設置者に対し、補助金を交付している。 ①ガスエンジン給湯器 4万円/1台 ②CO2冷却ヒートポンプ給油器 3万円/1台 ③潜熱回収型給油器 2万円/1台 ④家庭用燃料電池システム 3万円/1台	日進市 (環境課)	
				3-8	夏の日差しをツル科の植物により遮光し、省エネルギー化を図る「緑のカーテン」を公共施設（市庁舎、保育園等）に設置することにより、市民に啓発している。	長久手市 (環境課)	
				3-9	公園西駅周辺での市街地整備において、低炭素型まちづくり構想策定の検討を進めるなど、新たな宅地開発に向けた研究を進めている。	長久手市(計画課)	

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
4	短期		「エコモビリティライフ」の推進	4-1	平成20年度から通勤通学者を対象に、無料で自転車の貸し出し（杵ヶ池公園駅付近）を実施している。平成24年度からは、リニモ沿線地域における観光地周遊目的での利用も対象とする。 平成21年度から沿線地域の住民等に対し、公共交通機関への利用転換を促すモビリティマネジメントを実施している。 また、平成20年度からパーク＆ライド（P&R）を推進しており、沿線地域でのモビリティマネジメントやP&R推進のための調査を実施してきている。平成23年度は、リニモ駅周辺の商業施設に対するP&R駐車場設置の提案に係る調査を実施している。	愛知県（交通対策課）	具体化 一層の工夫をこらしながらエコモビリティライフの一層の推進を図り、低炭素社会のリーディングエリアを目指して取り組んでいく。
				4-2	平成20年度から高齢者の外出を促進するため、65歳以上の方に、リニモカードを交付している。（平成22年度は3,520人に交付）	長久手市（福祉課）	
5	中期	○	家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進	5-1	八草駅周辺は、都市計画マスタープラン（20年3月）で市街地整備の推進を位置づけており、ゆとりある住宅の整備等、まちなみ形成の検討を進めている。	豊田市（都市計画課）	事業中 構想で本施策の対象とされている公園西駅、八草駅周辺の開発は、まだ地権者との協議段階であるが、将来の街づくりについても地権者とともに検討し、ゆとりある住宅整備に取り組んでいく。
				5-2	公園西駅周辺は、都市計画マスタープラン（22年3月）で住宅誘導ゾーンに位置づけており、平成24年度中の市街化区域編入告示を目標として、国や県との協議を進めている。 また、土地区画整理事業による整備を進めるための調査・設計業務委託を進める一方で、地権者を中心としたまちづくり協議会を設立し、まちづくりの方向性、必要な機能、商業事業者の誘致等を検討している。	長久手市（計画課）	
6	中期	○	水と緑のネットワーク形成の推進	6-1	平成21年度までに、海上の森にツアーコースを整備し、平成22年度から生物多様性ツアーを実施している。	愛知県（森林保全課）	具体化 海上の森での生物多様性ツアーを実施するとともに、リニモ沿線の散策路やサイクリングロードの整備とそれらを活用した水と緑のネットワーク形成に取り組んでいく。 八草駅周辺については、市街地整備に関する地権者との協議を進める中で、今後、議論を図っていく。
				6-2	リニモ沿線での宅地開発において、散策路やサイクリングロード等の整備を検討するなど、自然資源を活かしたライフスタイルの提案を行い、人と自然の共生を体感できる水と緑のネットワークの形成を進めている。 八草駅周辺については、市街地整備によるゆとりある住宅の整備等、まちなみ形成に向けた検討を地元まちづくり組織と進めている。	豊田市（都市計画課）、日進市（区画整理課）、長久手市（計画課）	
7	短期		田園バレー事業の推進	7-1	遊休農地の解消、食育の推進、市民農園の整備など「農のある暮らし・農のあるまち」の実現を目指し、「農」と「都」の調和がとれた長久手らしさの維持・保全を目指した取組を進めている。	長久手市（田園バレー事業課）	具体化 一層の工夫をこらしながら、田園バレー事業の推進に取り組んでいく。
8	短期		環境学習の促進	8-1	愛・地球博記念公園もりの学舎において、自然体験や工作教室を通じて楽しみながら環境を学ぶ講座などを実施している。	愛知県（環境活動推進課）	具体化 今後、沿線開発の進捗に応じ、環境学習の重要性が高まると考えられることから、一層の工夫をこらしながら、沿線全域において環境学習の推進に取り組んでいく。
				8-2	海上の森において、「森の教室」、「里の教室」など里山への理解を深めるための参加体験事業を実施するとともに、里山保全等の普及啓発を行っている。	愛知県（森林保全課）	
				8-3	（財）日本環境協会のこどもエコクラブ事業を利用し、日進市内のクラブ登録者に対し、環境講座や体験学習などを実施している。	日進市（環境課）	
				8-4	香流川にて市民参加による水生生物調査を実施し、身近な川の状況を知ってもらうなど、自然とふれあう機会をつくっている。	長久手市（環境課）	
				8-5	長久手市平成こども塾を拠点に、小学校および地域ボランティアと連携して、自然体験型環境教育（里山整備、野鳥観察等）を推進している。	長久手市（教育総務課）	
9	中期	○	愛・地球博記念公園の集客力の充実強化	9-1	愛・地球博記念公園において、愛・地球博開催時の写真とリンクしたARのエアタグを配置する「万博アルバム」を平成23年度に実施している。 AR：現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術	愛知県（情報企画課ほか）	具体化 こどものひろばの早期整備を進めるとともに、モリコロパークの各種施設を活用したイベントの開催等を行うことにより、公園の集客力の充実強化に取り組んでいく。
				9-2	愛・地球博記念公園内の愛知県児童総合センターにおいて、通常のプログラムに加え、粘土を利用した体験プログラムの実施など、季節ごとに内容を変えた各種事業を実施するなどして、集客力の充実強化を図っている。	愛知県（子育て支援課）	
				9-3	愛・地球博記念公園を、博覧会の理念と成果を継承・発展させる都市公園として整備（多目的球技場・サイクリングコース等）している。中でも、公園の西側に位置するこどものひろばについては、最寄駅となる公園西駅周辺の市街地整備との連携を図りながら整備を進めている。	愛知県（公園緑地課）	
				9-4	「モリコロパーク秋まつり（9月）」や「モリコロパーク春まつり（3月）」をはじめとした各種イベント等を開催し、愛・地球博記念公園の独自性、求心力を高めることで公園の利活用を促進している。	愛知県（公園緑地課）	
10	短期		瀬戸万博記念公園（愛・パーク）の活用	10-1	毎年度3月下旬に瀬戸万博記念公園「愛・パーク」開園記念イベントを開催するとともに、リニモ早春ウォーキング「万博メモリアルウォーク」との共同開催で、リニモと「愛・パーク」が連携した事業を実施している。 また、「愛・パーク」を市民団体等の活動の場として活用し、公園の利活用促進と賑わいを創出している。	瀬戸市（都市整備課）	具体化 リニモや近隣施設との連携によるイベント開催等により、愛・パークの一層の活用にに取り組んでいく。

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
11	短期		沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施	11-1	県事業として、スタンプラリーやリニモ車両基地見学会などの閑散期における利用促進事業を実施するとともに、東部丘陵線連絡協議会（県・沿線5市）においても、沿線ウォーキングなどの沿線地域の発展とリニモの利用促進に資する事業を実施している。	愛知県（交通対策課）、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化 イベントの開催方法や内容に工夫をこらしながら、沿線各施設と連携したイベントの実施・充実に取り組んでいく。
				11-2	リニモ沿線の文化施設（民間・大学等）が連携してスタンプラリー等を実施するなど、文化の日を含む秋の一定期間を「リニモ沿線ミュージアムウィーク」としてイベント展開している。	愛知県（文化芸術課）	
				11-3	長久手市観光交流推進会議において、観光交流を目的にトヨタ博物館、名都美術館、モリコロパーク、長久手温泉ござらっせ、あぐりん村等の観光施設間との連携を図り、イベントやPR活動（ながくて冬まつり2011-祝 市制一、グルメマップの作成等）を行っている。	長久手市（まちづくり協働課）	
12	短期		企業、大学等が参画した交流イベント等の実施	12-1	リニモ沿線の文化施設（民間・大学等）が連携してスタンプラリー等を実施するなど、文化の日を含む秋の一定期間を「リニモ沿線ミュージアムウィーク」としてイベント展開している。	愛知県（文化芸術課）	具体化 沿線の企業や大学等が参画する交流イベントの推進に取り組んでいく。 とりわけ交流イベントの実施にあたっては、大学間の交流や今年2月にオープンした知の拠点の活用を図りながら、取り組んでいく。
13	短期	○	愛・地球博記念公園における地球市民交流センターの整備	13-1	愛・地球博の理念と成果を継承・発展させる核となる場、公園利用及び管理運営の拠点、また、発災時における救援活動の拠点としての役割を担う「地球市民交流センター」を平成22年度に整備している。	愛知県（公園緑地課）	具体化 地球市民交流センターが整備されたことから、今後は、愛・地球博の理念と成果を継承する市民参加と交流の拠点として、さらなる活用に取り組んでいく。
				13-2	地球市民交流センターの利活用を促進するため「地球市民交流センターパートナー」を募集しており、平成23年11月現在で126のパートナー登録を得ている。 このパートナーによって、愛・地球博の理念を受け継ぐ「交流」と「環境」をテーマにしたプログラムが実施されている。	愛知県（公園緑地課）	
14	短期		一市町村一国フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実	14-1	愛・地球博開催時の一市町村一国フレンドシップ事業の成果を継承し、市町村において国際交流を定着させるため、名古屋市を除く全市町村が実施する国際交流事業に対し、万博剰余金を活用して設置した「万博基本理念継承発展基金」を財源として交付金を交付し、市町村の活動を支援している。 1 交付期間：平成19年度～平成23年度（5年間） 2 交付上限額：10億円	愛知県（国際課）、県内市町村（名古屋市を除く）	具体化 一市町村一国フレンドシップ事業は終了するものの、その精神の継承を図る場として地球市民交流センター等を利用した市民活動の促進に取り組んでいく。また、様々なイベントにおけるボランティア活動の活性化にも取り組んでいく。
				14-2	「市民協働・市民参加」による愛・地球博記念公園の管理運営を推進するため、県民と行政のパートナーシップによる公園管理運営の取組として「公園マネジメント会議」を設置・運営している。 平成23年度は74団体が参画し、総会、臨時総会を各1回、コア会議を4回実施する他、各種分科会活動を展開している。	愛知県（公園緑地課）	
				14-3	COP10関連イベントの開催を補助するボランティア活動については、愛・地球博の理念を継承するNPO法人愛・地球博ボランティアセンターに運営を委託し、万博時の対応を活かした取組を行った。	COP10支援実行委員会	
15	短期		エコマネー活動、ゼロエミッションの取組	15-1	もりの学舎（愛・地球博記念公園）やあいち海上の森センターを訪れた来館者をはじめ、環境に配慮した行動（リサイクルステーションの利用、ペットボトルの回収、エコ商品の購入、バスの利用、環境学習の参加等）に対してエコマネーポイントを発行し、ポイントと環境配慮商品の交換や商業団体やスーパー等の発行する商品券等に交換できる人と地球に優しい環境通貨としてエコマネーの普及を促進している。	愛知県（環境活動推進課）、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化 引き続き、エコマネーの普及促進を図るとともに、提示された事業モデルの導入など、ゼロエミッションの実現に向けて、取り組んでいく。
				15-2	平成18年度にあいちゼロエミッションコミュニティ構想を策定し、これまでに県内で3つの事業モデル（木質バイオマスの有効利用事業等）を始動している。また、平成21年度にはリサイクル事業を進める企業（沿線地域）に対し、施設整備のための補助を実施している。	愛知県（資源循環推進課）	
16	中期		IT技術を活用した交通情報等の共有	16-1	平成23年度にリニモ沿線地域づくり調査研究会（県、沿線4市）の事業として、大学生グループによる地域づくりに関する取組を支援し、ホームページ・ツイッターを活用した地域情報の提供を展開している。	愛知県（地域政策課）、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化 リニモをはじめ沿線の公共交通機関の利用促進に向けて、一層の工夫を凝らしながら、IT技術の活用した情報の発信・共有に取り組んでいく。
				16-2	平成23年度にリニモ沿線地域のイベント情報などを関係機関と連携して配信する、フェイスブックページ「リニモとびっくす」を運用している。	愛知県（情報企画課ほか）	
				16-3	リニモ各駅に接続するバスのルートや停留所の位置、時刻表等の情報をWeb上で提供する「リニモナビ」を作成し、平成20年11月から県HP上にて提供を行っている。 提供開始後は、関連情報の内容変更（バス路線の経路変更等）に対応するため、毎年、適宜更新作業を行っている。	愛知県（交通対策課）	
				16-4	平成22年2月に豊田市保見地区でデマンドバスの社会実験を実施し、その結果を踏まえ、平成23年4月より保見地域バスの運行路線を見直した。	豊田市（交通政策課）	
17	短期	○	「知の拠点」の整備	17-1	「知の拠点」のあいち産業科学技術総合センターについては、平成24年2月14日にオープンしている。	愛知県（科学技術推進室）	具体化 機能充実に向けて、更に施設整備を進めるとともに、施設を活用した研究の実施に取り組んでいく。
				17-2	「知の拠点」の中部シンクロトン光利用施設については、平成24年度中のオープンに向けて整備を行っている。	愛知県（科学技術推進室）	
				17-3	「知の拠点」において、地域の産学行政が連携して、大学等の研究シーズをもとに、企業による製品化を図るための共同研究開発（重点研究プロジェクト）を実施している。（17大学、9公的研究機関、56企業が参加）	愛知県（科学技術推進室）	

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
18	中期	○	国機関等の研究施設の早期誘致	18-1 「知の拠点」に誘致する研究機関等の検討を行っている。	愛知県 (科学技術推進室)	事業中	「知の拠点」への国機関等の研究施設の誘致実現に向けて取り組んでいく。
19	中期	○	民間企業の研究開発施設など産業集積用地の整備	19-1 企業立地の推進を図るため、八草地区において、企業誘致の受け皿となる産業用地を整備する。平成23年度は、事業化に向け地元及び地権者との協議・各法令手続のための関係機関との調整、現況・用地測量・基本設計を行っている。	豊田市 (土地開発公社)	事業中	開発規制のクリアをはじめ課題の解決に努め、用地整備に着実に取り組んでいく。
20	中期	○	駅周辺での芸術活動の場の整備の推進	20-1 平成23年度は、芸大通駅周辺での芸術的な手法を活用した賑わい創出について、調査を行っている。	愛知県 (地域政策課)	事業中	長久手古戦場駅や芸大通駅周辺における芸術活動の場の整備について、県芸大をはじめ近隣大学と連携して取り組んでいく。また、長久手古戦場駅近隣で整備予定の「リニモテラス」を芸術活動の場として活用できるよう検討していく。
				20-2 長久手古戦場駅前に、広場と複合商業施設（店舗、健康・医療相談、住民サービスコーナー、観光・イベントインフォメーション、大学連携拠点など）とで構成される「リニモテラス」整備に向け、商業事業者と協議を進めている。	長久手市 (企画政策課)		
21	中期	○	愛知県農業総合試験場の機能強化	21-1 農業総合試験場では、平成23年度研究課題として127課題を実施している。 ①消費者の信頼に応える食料等の生産・供給の確保：35課題 ②気象変動に強く環境に配慮した持続的農業の推進：35課題 ③高度な技術や新たな品種による農業経営の向上：42課題 ④地域の資源や特性を活用した多様な付加価値の創出：15課題	愛知県 (農業経営課)	事業中	大学や他の研究機関との研究交流の充実を図るとともに、重要性を増す研究課題への試験研究機能の充実・強化に取り組んでいく。
				21-2 農業総合試験場と名古屋大学との協定に基づく共同研究等を実施する中で、イネの耐冷性やいもち病抵抗性遺伝子の解析などの成果を上げている。	愛知県 (農業経営課)		
22	短期		愛知県立芸術大学の充実	22-1 愛知県立芸術大学では、平成21年4月に大学院美術研究科・音楽研究科に博士後期課程を開設した。また、昭和41年4月の開学から45年が経過し、建物全体に経年劣化がみられるほか、学生数の増加による狭隘化に加え防音性能などの機能劣化が著しく、教育研究機能に支障を来しており、音楽学部棟を整備している。	愛知県 (学事振興課)	具体化	音楽学部棟の整備をはじめ、大学施設の機能充実に取り組んでいく。
23	短期		沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化	23-1 長久手古戦場駅前に、広場と複合商業施設（店舗、健康・医療相談、住民サービスコーナー、観光・イベントインフォメーション、大学連携拠点など）とで構成される「リニモテラス」を整備することとしており、コンソーシアム拠点として活用できるよう検討している。	長久手市 (企画政策課)	具体化	大学コンソーシアムの形成を目指すとともに、その活動拠点と想定される長久手古戦場駅前の「リニモテラス」の活用の検討と整備に取り組んでいく。
				23-2 平成20年度から、沿線5大学と2公共機関が図書館連携事業を進めている。連携図書館の図書を共有し活用できるネットワークシステムを構築し、図書の貸出、図書に関する情報共有等を行っている。また、学長シンポジウムをはじめ多様な講演会、講座等を実施している。	県大、県芸大、愛知淑徳大、名古屋外語大、名古屋学芸大、長久手市、県図書館		
24	短期		青少年などへの科学技術の啓発活動の推進	24-1 平成22年度に愛知工業大学による鉄人28号を活用したロボットイベントを愛・地球博記念公園で開催するなど、青少年が科学技術に親しむイベントを開催している。	愛知県(地域政策課)、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化	沿線の関連施設、とりわけ今年2月にオープンした「知の拠点」を活用し、青少年等への科学技術の啓発活動に取り組んでいく。
				24-2 科学技術の普及啓発・理解増進を図るため、「知の拠点」内のあいち産業科学技術総合センターに、科学技術展示コーナー、モノづくり体験コーナー等を整備した。	愛知県 (科学技術推進室)		
				24-3 農業総合試験場では、「農業総合試験場公開デー」（秋）を設け、研究成果の展示、フォーラムの開催、青少年向けワークショップ、農産物販売等を行っている。	愛知県 (農業経営課)		
25	短期		大学による地域貢献活動の充実	25-1 愛知県立大学では、開かれた大学を目指し、教育・研究の一部を広く県民に公開・提供するため、公開講座を開催している。また、専門的知識を持つ講師を外部より招き、本学学生の学業・教養向上に資するとともに、広く県民へ知的情報を提供し、学術文化の振興に寄与するため、学術講演会を実施している。	愛知県 (学事振興課)	具体化	個々の大学の地域貢献活動に加え、各大学が連携した活動についても、促進できるよう取り組んでいく。
				25-2 愛知県立芸術大学では、地域貢献事業として美術学部公開講座を開催するほか、学内で行われる展覧会、音楽会を地域にも開放し、大学による地域貢献を行っている。	愛知県 (学事振興課)		
				25-3 愛知学院大学、愛知工業大学、名古屋学院大学、名古屋商科大学をはじめとする沿線大学において、一般を対象とした公開講座などを実施している。	沿線大学		

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
26	中期	○	長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺への集約的な都市的土地利用の誘導	26-1	八草駅周辺において、豊田市の北の玄関口として、公共交通（リニモ、愛知環状鉄道）が結節する自然環境と調和した良好な市街地の実現に向け、市街化区域の見直しや将来的な用途地域の変更を見据えながら、市街地整備事業の計画検討を進めている。 平成22年度までに整理した取組方針を基に、平成23年度から地元まちづくり組織の活動を支援し、事業化に向けた共働による検討を進めている。	豊田市 (都市計画課)	事業中  長久手古戦場地区については、リニモテラス構想の実現に向けて、機能の検討と整備推進に取り組んでいく。 他の地区については、まだ地権者との協議段階であるが、事業を進める中で、商業施設など都市的土地利用の誘導に取り組んでいく。
				26-2	長久手古戦場駅の南部に位置する日進市北新地区において、平成21年度より地元地権者からなる世話人会との会議を重ねてきた。その間タウンウォッチングやアンケート調査等により、本地区についての現状や課題の整理を行った。 また平成23年度には土地区画整理事業実施や施工地区の設定についての検討資料とするため、調査範囲内の地権者への土地利用意向調査を行っている。	日進市 (区画整理課)	
				26-3	長久手古戦場駅周辺において、土地区画整理事業による市街地整備を行っている。 また、このエリアの中心を担う商業事業者の協力を得て、新たなまちづくりの象徴となる「リニモテラス構想」（広場と複合商業施設とで構成）の実現を目指している。	長久手市 (計画課)	
				26-4	公園西駅周辺では、平成24年度中の市街化区域編入告示を目標として、国や県との協議を進めている。 また、土地区画整理事業による整備を進めるための調査・設計業務委託を進めている。 一方、地権者を中心としたまちづくり協議会を設立し、公園西駅周辺のまちづくりの方向性、必要な機能、どのような商業事業者を誘致するかを検討を進めている。	長久手市 (計画課)	
27	中期	○	駅周辺への利便施設、コミュニティ・公共公益施設の配置	27-1	八草駅周辺では、地元まちづくり組織と共働による市街地整備の計画検討を進めている。	豊田市 (都市計画課)	事業中  長久手古戦場地区については、リニモテラス構想の実現に向けて、機能の検討と整備推進に取り組んでいく。 他の地区については、まだ地権者との協議段階であるが、事業を進める中で、公共施設等の配置検討についても取り組んでいく。
				27-2	長久手古戦場駅周辺において、このエリアの中心を担う商業事業者の協力を得ながら、「リニモテラス構想」（店舗、健康・医療相談、住民サービスコーナー、観光・イベントインフォメーション、大学連携拠点などで構成）の実現を目指している。	長久手市 (計画課)	
				27-3	公園西駅周辺では、駅周辺への施設配置等、土地区画整理事業の検討を進めている。	長久手市 (計画課)	
28	短期	○	パーク＆ライド駐車場の整備・促進	28-1	平成18年度から愛・地球博記念公園駅北側の県有地において、P&R駐車場の有料運用を開始している。P&R推進事業の目的に沿った利用を拡大していくよう、啓発活動等を実施している。	愛知県 (交通対策課)	具体化  パーク＆ライド駐車場の利用促進について取り組んでいく。
				28-2	平成20年度から八草駅前P&R駐車場の供用を開始し、23年度は拡張工事を実施している。（平成24年4月より有料化）	豊田市 (交通政策課)	
29	中期	○	背後圏をつなぐアクセス道路の整備	29-1	周辺市から各駅へのアクセス性を向上させるため、県道瀬戸大府東海線を整備している。 ・バイパス事業 L=1.2km、W=22m ・全体事業費 約40億円 ・長久手市長湫地内	愛知県 (道路建設課)	事業中  各駅へのアクセス性を向上させるため、県道瀬戸大府東海線や県道広久手八草線の早期整備に取り組んでいく。
				29-2	周辺市から各駅へのアクセス性を向上させるため、県道広久手八草線を整備している。 ・バイパス事業 L=0.8km、W=18m ・全体事業費 約40億円 ・豊田市八草地内	愛知県 (道路建設課)	
30	中期	○	テーマ性のあるプロムナードの形成	30-1	平成23年度は、芸大通駅及び陶磁資料館南駅周辺でのプロムナード形成を視野に入れた賑わい創出について、調査を行っている。	愛知県 (地域政策課)	事業中  芸大通駅や陶磁資料館南駅周辺でのプロムナード形成に向けて、県が今年度実施した調査をベースにして、取り組んでいく。
				30-2	ARなどを活用して、施設案内・作品案内を行うAR陶磁資料館を平成23年度から実施している。 AR：現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術	愛知県 (情報企画課ほか)	
31	短期		フィーダー交通の充実	31-1	県及び関係市では、コミュニティバスに関して意見交換している。なお、沿線の大学にリニモの駅からのスクールバス運行を働きかけ、平成22年度からは長久手古戦場駅と愛知学院大学、中西学園を結ぶスクールバスが運行されている。	愛知県 (交通対策課)	具体化  引き続き、沿線大学にスクールバスへの運行を働きかけるとともに、コミュニティバスの路線やダイヤの見直し検討等、利便性向上と利用促進に取り組んでいく。
				31-2	公共交通空白地区における生活交通確保を目的として、平成18年12月から瀬戸市コミュニティバスの試行運行を実施している。八草駅と瀬戸市の中心市街地を結ぶ「上之山線」の運行に関し、利用状況を踏まえた運行時刻等の見直し検討を行い、利用促進を図っている。	瀬戸市 (生活課)	
				31-3	平成22年2月に豊田市保見地区でデマンドバスの社会実験を実施した。実験結果を受け、平成23年4月よりデマンドバス方式ではなく定時定路線で保見地域バスの運行路線を見直した。	豊田市 (交通政策課)	
				31-4	くるりんばすでは、平成17年度より日進市内から長久手古戦場駅への乗り入れを開始し、現在では、8コース中2コースが乗り入れている。	日進市 (生活安全課)	
				31-5	Nーバスの利用実態調査などを実施し、運行路線やダイヤの見直し、乗継時間の短縮などの改善を図っている。	長久手市 (安心安全課)	

施策番号	実施時期	ハード整備	主要施策	現状（具体事業の概要）	事業の担当	進捗度合	今後の対応
32	短期		せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進	32-1 瀬戸市全域の魅力ある観光資源を活用した総合的なまちづくりを進める中で、イベント等の開催を通じて、リニモ沿線を含めた地域の賑わいと交流の創出を目指している。「あかりを巡る旅バスツアー」「万博メモリアルウォーク」等、リニモイベントと瀬戸市イベントとの連携により、リニモ沿線の賑わいの創出と誘客を図っている。	瀬戸市 (まるっとミュージアム課)	具体化	リニモ沿線と瀬戸市中心部との回遊性を高めるためにも、せと・まるっとミュージアム構想と連携したイベントの開催などに取り組んでいく。
33	短期		シーズンイベントの開催	33-1 県事業として、「リニモ親子教室」（沿線でのスタンプラリー等・夏休み）や「リニモ車両基地見学会」（春休み）等を実施するとともに、東部丘陵線連絡協議会（県・沿線5市）においても、「沿線ウォーキング」や「わくわく体験リニモツアー」（沿線施設での体験学習・夏休み）といったイベントを実施している。	愛知県(交通対策課)、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化	夏季・冬季等の閑散期における利用促進事業や地域の特性を踏まえた記念イベントの開催など、工夫を凝らしながらシーズンイベントの開催に取り組んでいく。
				33-2 農業総合試験場では、「農業総合試験場公開デー」（秋）を設け、研究成果の展示、フォーラムの開催、青少年向けワークショップ、農産物販売等を行っている。	愛知県 (農業経営課)		
				33-3 「モリコロパーク秋まつり（9月）」や「モリコロパーク春まつり（3月）」をはじめとした各種イベント等を開催し、愛・地球博記念公園の独自性、求心力を高めることで公園の利活用を促進している。	愛知県 (公園緑地課)		
				33-4 長久手市観光交流推進会議において、愛知県都市整備協会と共催で平成23年8月にモリコロパークにおいて「モリコロパーク夏まつり」を実施したほか、12月からは観光交流を目的にした「ながくて冬まつり2011ー祝 市制ー」を実施している。	長久手市 (まちづくり協働課)		
34	中期		地域づくりのプラットフォーム構築等によるエリアマネジメント	34-1 豊田市八草地区において、地元まちづくり組織の活動支援と共働による市街地整備事業の実現に向けた取組を進めている。	豊田市 (都市計画課)	具体化	市街地整備事業が進められている長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺では、地権者による街づくりの検討組織が設けられている。こうした組織をベースにして、沿線全体の地域づくりを話し合う組織の構築を図るなどして、エリアマネジメントに取り組んでいく。
				34-2 長久手古戦場駅の南部に位置する日進市北新地区において、平成21年度より地元地権者からなる世話人会との会議を重ねてきた。その間タウンウォッチングやアンケート調査等により、本地区についての現状や課題の整理を行っている。 地域が持つ課題について、「地域」「行政」としてどのように関わっていくのかは、今後の検討事項となっている。	日進市 (区画整理課)		
				34-3 長久手古戦場駅周辺において、土地区画整理事業による市街地整備を行っている。 組合、商業事業者、長久手市が連携して、エリアマネジメントの検討を進めている。	長久手市 (計画課)		
				34-4 公園西駅周辺では、土地区画整理事業による市街地整備を進めることとしている。 地権者を中心としたまちづくり協議会を設立し、公園西駅周辺のまちづくりの方向性、必要な機能、どのような商業事業者を誘致するかの検討を進めている。	長久手市 (計画課)		
35	中期	○	世代混在住宅の誘導	35-1 豊田市八草地区において、地元まちづくり組織の活動支援と共働による市街地整備事業の実現に向けた取組を進めている。	豊田市 (都市計画課)	事業中	地権者との協議など事業を進める中で、様々な世代の入居が可能となるような街づくりについて取り組んでいく。
				35-2 長久手古戦場駅の南部に位置する日進市北新地区において、平成21年度より地元地権者からなる世話人会との会議を重ねてきた。その間タウンウォッチングやアンケート調査等により、本地区についての現状や課題の整理を行っている。 地域が持つ課題について、「地域」「行政」としてどのように関わっていくのかは、今後の検討事項となっている。	日進市 (区画整理課)		
				35-3 長久手古戦場駅周辺において、土地区画整理事業による市街地整備を行っている。 組合、商業事業者、長久手市が連携し、世代混在住宅の誘導の検討等、エリアの具体像の検討を進めている。	長久手市 (計画課)		
				35-4 公園西駅周辺では、土地区画整理事業による市街地整備を進める。 地権者を中心としたまちづくり協議会を設立し、公園西駅周辺のまちづくりの方向性、必要な機能、どのような商業事業者を誘致するかの検討を進めている。	長久手市 (計画課)		
36	短期		ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供	36-1 平成23年度にリニモ沿線地域づくり調査研究会（県、沿線4市）の事業として、大学生グループによる地域づくりに関する取組を支援し、ホームページで地域情報の一体的提供を展開している。また、フリーペーパー「感動十景」を活用し、地域情報を広域的に発信している。	愛知県(地域政策課)、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市	具体化	インターネットや雑誌などを活用し、沿線情報の提供は行われているものの、その内容は交通情報や施設案内がほとんどである。このため、従来の沿線情報に併せ、住民同士のコミュニケーションの促進を図るための情報も含めた、一体的な情報提供に取り組んでいく。
				36-2 平成22年度にリニモからの車窓や沿線施設を紹介する動画を6本作成しており、ネット上で公開している。	愛知県 (情報企画課)		
				36-3 長久手市観光交流推進会議では、ホームページで市内観光情報を一体的に提供するとともに、ミニコミ誌に対し積極的に情報提供を行っている。雑誌「KEELY」や「Cheek」に編集協力（広告費）を行い、リニモ沿線の魅力を発信している。また、今年度、発足した「長久手歴史トラベラーズ」のパフォーマンスや特設サイトでも、積極的にリニモを含む長久手市の観光PRを行っている。	長久手市 (まちづくり協働課)		

将来像	基本方針	基本戦略
愛・地球博の成果を継承・発展させるまち	1. 環境共生型の暮らしが根付くまちづくり	1. 自然環境の保全に配慮した計画的な市街地整備
		2. 低炭素社会を実現するまちづくり
		3. 自然や身近な緑と親しめるまちづくり
	2. 文化・レク施設等に人々が賑やかに集い、楽しく交流するまちづくり	4. 沿線施設の連携と民間活力を活用した「にぎわい」づくり
3. 新しい地球市民交流・市民参加活動が生まれるまちづくり	5. 地域全体で取り組む「市民力」アップ	
4. 環境分野等の先進的取組を通じ、課題に挑戦しつづけるまちづくり	6. 大学、NPO、企業等が連携した先進的取組の場・機会の提供	
愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区	5. 最先端の科学技術の共同研究や実証実験が行われ、世界に発信するまちづくり	7. 科学技術の創造拠点の形成
		8. 技術先端型企業等の研究開発機能の誘導
	6. 地域内外の大学・研究機関の相互連携、研究交流が盛んなまちづくり	9. 学生や研究者が活動しやすい環境づくり
リニモでつながる「コンパクト」なまち	7. 駅ごとに特色ある都市機能が集積したまちづくり	11. 各駅の機能・役割に応じた都市的土地利用の誘導
		8. 駅と背後圏が有機的に連携したまちづくり
	9. 活発なコミュニティにより持続的に発展するまちづくり	13. 沿線の演出等によるアイデンティティの形成
		14. 新しいライフスタイルを支えるコミュニティの形成

主要施策	主要施策の主な取組エリア						
	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森
1. ④駅を中心に概ね1km圏内の市街地整備の推進	●	●	●			●	
2. ④森林・農地の適正な維持管理(あいち森と緑づくり税活用による里山林整備等)		●	●	●	●	●	●
3. ④エコ技術の導入(太陽光発電、屋上・壁面の緑化等)	●	●	●	●	●	●	●
4. ④「エコモビリティライフ」の推進(通勤転換、パーク&ライド等)	●	●	●	●	●	●	
5. ④家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進			●			●	
6. ④水と緑のネットワーク形成の推進(ウォーキングロード等の充実)	●	●	●	●		●	●
7. ④田園バレー事業の推進(地産地消の推進等)		●	●				
8. ④環境学習の促進				●			●
9. ④愛・地球博記念公園の集客力の充実強化				●			
10. ④瀬戸万博記念公園(愛・パーク)の活用						●	●
11. ④沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施	●	●	●	●	●	●	●
12. ④企業、大学等が参画した交流イベント等の実施(合同学園祭等)	●	●	●	●	●	●	●
13. ④愛・地球博記念公園における地球市民交流センターの整備				●			
14. ④一市町村一団フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実	●	●	●	●	●	●	●
15. ④エコマネー活動・ゼロエミッションの取組	●	●	●	●	●	●	●
4. ④「エコモビリティライフ」の推進(通勤転換、パーク&ライド等)(再掲)	●	●	●	●	●	●	●
16. ④IT技術を活用した交通情報等の共有(WEBによるリニモナビ等)	●	●	●	●	●	●	●
17. ④「知の拠点」の整備(先導的中核施設、中部シンクロトロン光利用施設(仮称)等)					●		
18. ④国機関等の研究施設の早期誘致					●		
19. ④民間企業の研究開発施設など産業集積用地の整備						●	
20. ④駅周辺での芸術活動の場の整備の推進	●	●					
21. ④愛知県農業総合試験場の機能強化(研究環境の整備、研究交流の充実等)		●					
22. ④愛知県立芸術大学の充実		●					
23. ④沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化	●	●	●	●	●	●	●
24. ④青少年などへの科学技術の啓発活動の推進(サイエンスカフェ等)		●		●	●	●	
25. ④大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等)	●	●	●	●	●	●	●
26. ④長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺への集約的な都市的土地利用の誘導	●		●			●	
27. ④駅周辺への便利施設、コミュニティ・公共公益施設の配置	●		●			●	
28. ④パーク&ライド駐車場の整備・促進	●		●	●		●	
29. ④背後圏をつなぐアクセス道路の整備	●					●	
30. ④テーマ性のあるプロムナードの形成(沿線施設へのプロムナード整備)		●			●	●	
31. ④フィーダー交通の充実(周辺住宅団地との連携強化等)	●		●	●		●	
32. ④せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進(瀬戸蔵と愛知県陶磁資料館の回遊等)		●		●	●	●	●
33. ④シーズンイベントの開催(芸術、電飾等を利用した地域の演出)	●	●	●	●	●	●	●
34. ④地域づくりのプラットフォーム構築等によるエリアマネジメント	●	●	●	●	●	●	●
35. ④世代混在住宅の誘導	●		●			●	
36. ④ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供	●	●	●	●	●	●	●

(注) 主要施策のうち、ゴシック太字はハード施策。ハード施策・ソフト施策の順に、実施時期を◎④で整理(◎:3年程度(2011年頃)で具体化する事業、④:目標年次2015年頃までに具体化をめざす事業)